2022年4月からの保険適用の料金

43歳以上の方または自費での治療を希望される方は自費負担額となります。

採卵

項目		保険3割負担額	自費負担額	備考
採卵術		9,600円	32,000円	
個数加算料	1個	7,200円	24,000円	採れた卵子の数に応じて採卵術に加算されます
	2－5個	10,800円	36,000円	
	6－9個	16,500円	55,000円	
	10個以上	21,600円	72,000円	

受精方法別

項目		保険3割負担額	自費負担額	備考
体外受精（媒精）		12,600円	42,000円	
顕微授精	1個	14,400円	48,000円	顕微授精を行う卵子の数で異なります
	2－5個	20,400円	68,000円	
	6－9個	30,000円	100,000円	
	10個以上	38,400円	128,000円	
体外受精＋顕微授精		両方を同時に行えば体外受精料金半額の6,300円に 顕微授精個数加算の全額の合算が負担額となります（保険適用の場合） 例）5個体外受精を実施し、5個顕微授精を実施なら 負担額　26,700円となります（保険適用の場合）		

培養

項目		保険3割負担額	自費負担額	備考
受精卵・胚培養管理料	1個	13,500円	45,000円	採卵日を0日目とした場合に受精卵（胚）を3日目まで培養した場合の負担額です
	2－5個	18,000円	60,000円	
	6－9個	25,200円	84,000円	
	10個以上	31,500円	105,000円	
受精卵・胚培養管理料（胚盤胞）	1個	4,500円	15,000円	4日目以降も胚盤胞に成長するように培養を継続する場合に「受精卵・胚培養管理料」に加算される負担額です 胚盤胞培養しない場合、残りの胚は破棄または要凍結となります
	2－5個	6,000円	20,000円	
	6－9個	7,500円	25,000円	
	10個以上	9,000円	30,000円	
タイムラプス培養		17,000円 （先進医療）	17,000円	胚を連続観察でき、安定した培養環境、的確な胚観察のできる培養方法です。 保険適応外のため、先進医療となります。

胚移植

項目	保険3割負担額	自費負担額	備考
新鮮胚移植	22,500円	75,000円	採卵した周期に胚を戻した場合の負担額です 治療開始時年齢が 40歳未満は6回まで 40歳以上43歳未満は3回まで
凍結融解胚移植	36,000円	120,000円	凍結した胚を戻した場合の負担額です 治療開始年齢は 初回は採卵時の年齢 2回目以降は融解胚移植治療を計画した年齢
アシステッドハッチング※	3,000円	10,000円	受精卵(胚)の孵化を助ける補助術
高濃度ヒアルロン酸含有培養液※	3,000円	10,000円	着床を助ける培養液

※初めての胚移植では使用できません。(初回で妊娠不成功だった場合のみ2回目以降から使用可能)

胚凍結

項目		保険3割負担額	自費負担額	備考
胚凍結	1個	15,000円	50,000円	凍結を行う受精卵(胚)の数で異なります
	2－5個	21,000円	70,000円	
	6－9個	30,600円	102,000円	
	10個以上	39,000円	130,000円	
胚凍結保存維持管理料		10,500円	35,000円	3年を限度として1年に1回算定されます

←DVD内に掲載の
助成金は廃止となりました